

標準開示フォーマット（任意団体用）

報告年月日 平成24年3月7日

報告者氏名 深見 順一

当該法人における役職 事務局員

1. 組織情報

■ 団体名称 地域医療を考える会

■ 主たる事務所の所在地 宮崎県小林市細野300番地 小林市地域医療対策室内

■ 従たる事務所の所在地

■ 代表者氏名 伊藤 正一

■ 設立年月日 平成 21年 7月 3日

■ 団体の目的 地域医療の在り方を行政、医療機関などの関係機関と協力しながら住民の立場で考え活動することで医療を通じた地域づくりに寄与することを目的とする。

■ 事業活動の概要
(400字以内)

- 1 地域医療に関する調査・研究事業
- 2 地域医療に関する講演会・シンポジウム等開催事業
- 3 その他・地域医療に関する事業
- 4 組織運営

■ 公開用電話番号 0984-22-3008

■ ファクス 0984-23-0325

■ ホームページ <http://kobayashi.tiikiiryu.web.fc2.com>

■ メールアドレス iryu@city.kobayashi.lg.jp

■ 常勤職員数 人

■ 定款等の添付 定款

	事業報告書	財産目録	貸借対照表	収支計算書
平成22年度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

※閲覧書類がインターネットで公開されている団体につきましては、当該ウェブページのURLを御記入ください。

<http://www.xxx.or.jp/xxxxxx>

2. 財務情報

■ 事業年度（直近の決算）

平成 22年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

■ 損益計算書（収支計算書）

	地域医療考える会 運営事業		合計
経常収益計	1,197,251		
県補助金収入	750,000		750,000
市補助金収入	250,000		250,000
貯金利息収入	59		59
缶バッジ売上収入	175,000		175,000
寄付収入	22,192		22,192
経常費用計	1,197,251		1,197,251
事業費合計			
管理費合計			
当期経常増減額			

■ 貸借対照表

平成 年 月 日現在

I 資産の部	
1. 流動資産	
2. 固定資産	
資産合計	

II 負債の部	
1. 流動負債	
2. 固定負債	
負債合計	
III 正味財産の部	
正味財産合計	
負債及び正味財産合計	

■ 準拠している会計基準

NPO法人会計基準

公益法人会計基準

なし

社会福祉法人会計基準

企業会計基準

その他（その会計基準名）……………

地域医療を考える会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会の名称は、地域医療を考える会（以下「会」という。）と称する。

(事務局)

第2条 会は、事務局を当分の間、小林市役所地域医療対策室内に置く。

(目的)

第3条 会は、地域医療のあり方を行政、医療機関などの関係機関と協力しながら住民の立場で考え、活動することで医療を通じた地域づくりに寄与することを目的とする。

(事業内容)

第4条 会は、第3条の目的を達成するために次の事業を実施する。

- (1) 地域医療に関する調査、研究に関する事業
- (2) 地域医療に関する講演会、シンポジウム等の事業
- (3) 地域医療に関する啓発パンフレット等の作成事業
- (4) その他、地域医療に関する事業

第2章 会員及び役員

(会員)

第5条 会員は、地域医療に対して関心を持ち、活動に参加できるものを対象とする。

(役員)

第6条 会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名以内
- (3) 事務局長 1名
- (4) 監事 2名以内

2 役員は、会員の互選で選任する。

3 会長は、会を代表し、会務を統括する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。

5 事務局長は、会長、副会長の指示のもとに職務を執行する。

6 会長は、必要に応じ事務局長を補佐する事務局次長を置くことができる。

7 監事は、会の会計を監査する。

8 役員任期は、1年とし、再任は妨げない。

第 3 章 会の運営

(会議)

第 7 条 会は、次の会議を会長が招集し開催する。

- (1) 年 1 回の総会
- (2) 月 1 回程度の定例会
- (3) 必要に応じた役員会
- (4) その他、必要に応じた臨時会

2 すべての会議の定足数は、特に定めない。

(経費)

第 8 条 会の運営に要する経費は、補助金、寄附金、会費及びその他の収入をもって充てる。

(会費)

第 9 条 会の会費は、当分、徴収しないものとする。

(会計年度)

第 10 条 会の会計年度は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日までとする。

第 4 章 雑則

(会則の改廃)

第 11 条 会則の改廃は、会員の過半数の同意を得て行うこととする。

(その他)

第 12 条 会則に定めるもののほか、この会の活動に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この会則は、平成 22 年 7 月 3 日から施行する。

平成22年度 事業実績書

地域医療を考える会

【総括】

地域医療を考える会は、昨年5月から会発足の議論を進め、7月3日に発足しました。この間、地域医療の課題について、会員での学習や視察研修を経て、住民でできることを議論しながら、DVDによる地域での座談会や講演会を開催するなど取組みを進めてきました。これらの取組みにより、地域医療の課題について、住民の方々に理解が進んできたことを実感しております。

また、地域医療の取組みについて、行政や医師会等との意見交換を重ね、それぞれが連携、分担しながら地域一体となって取り組むことが医師確保の対策としても重要であることを認識したところです。

今後も、活動を継続・発展させ安心できる医療体制を目指し、住民団体ならではの取組みを追求していきたいと考えます。以下項目ごとにその実績を報告します。

1 調査、研究事業

(1) 視察研修

住民活動として全国的にも先進的な「県北の医療を守る会」（延岡市）の活動について、説明を聞き質疑をしながら研修し、現在の活動の基礎とした。

平成22年8月28日(土) 参加者数～17人

[写真NO.1:視察研修・集合写真]

(2) 会員学習会

●市立病院坪内斉志病院長を講師に、西諸の地域医療の現状を学習した。この学習会が入会の契機となり、会員数が拡大した。

平成22年8月19日(木) 参加者数～70人

[写真NO.2:学習会・坪内院長の講演]

●西諸医師会事務局長と市立病院事務部長を招き、会員の様々な疑問を解消するため、質疑応答形式の学習会を開催した。

平成22年11月18日(木) 参加者数～22人

(3) 聴講

当会主催の地域医療講演会を前に、講師の伊関友伸先生の講義を聴講し、講演会開催の参考とした。

平成22年11月16日(火) 会場～大分大学 参加者数～5人

(4) 地域医療四者連携会議

四者（市立病院、西諸医師会、地域医療対策室、地域医療を考える会）で、月1回程度の会議を開催し、連携を図った。

平成22年11月9日(火)から6回開催

2 講演会、シンポジウム等の事業

(1) 地域医療講演会の共催

市主催の地域医療講演会(講師～元鹿児島大学付属病院長愛甲孝先生)について共催し、参加の呼びかけ、会活動のパネル展示を行うとともに会報「てとてとて」を配布し、会員募集を行った。

平成22年10月6日(水) 文化会館大ホール 参加者数～約700人

[写真 NO. 3 : 共催講演会でのホール活動]

(2) 地域医療講演会「いっしょに育てる 地域医療 みんなのみらい」の主催

地域医療講演会を市と協働で主催し、創作劇、宮崎大学医学部生とのトーク、伊関友伸先生（城西大学准教授）の講演、地域医療活動を推進する宣言を行った[添付資料①]。また、出入り口付近では、当会オリジナル缶バッジの販売、宮崎大学医学部生のパネル展示と冊子配布などを行った。

平成23年2月27日(日) 文化会館大ホール 参加者数～約500人

[写真 NO. 4 : 主催講演会での展示物]

[新聞記事 NO. 1 : 23/3/2 宮日～夜間受診最低限に地域医療講演会で呼び掛け]

(3) 地域医療座談会

当会で製作したDVDを活用し、小林市内の各地域・団体において地域医療座談会を開催し、住民への啓発と会員の募集を行った。

平成22年10月12日(火)～平成23年2月24日(木)

全34会場 参加者数～延べ1,189人 [写真 NO. 5 : 座談会の様子]

3 啓発パンフレット等の作成事業

(1) のぼり旗・ブルゾン

会で考案した標語「いっしょに育てる 地域医療 みんなのみらい」を基に、のぼり旗を作成した。主催行事やイベント参加の際に活用している。また、イベントの際、会員が着用するブルズンをイメージカラーの黄色で15着作成した。

平成22年10月作成 作成数:15本 [写真 NO. 6 : のぼり旗]

(2) DVD

医師不足の実態や問題点を住民に理解してもらうため、市立病院坪内斉志病院長へのインタビューを15分に編集し、当会オリジナルのDVDを製作した。地域医療座談会で活用したほか、関係機関等に配布した。

平成22年10月製作 製作数:130枚

[新聞記事 NO. 2:22/11/12 朝日～地域医療守れDVDを作製]

(3) チラシ

地域住民にできること、行政、市立病院及び医療機関の役割、啓発事項を載せたチラシ[添付資料②]を作成し、「こぼやし秋まつり」パレードや、地域医療座談会において配布した。

秋まつりパレード 平成22年11月21日(日) 参加者数～20人

(4) 缶バッジ

活動の輪を広げるため、オリジナルの缶バッジを作成し、主催の地域医療講演会や事務局で販売した。また、准看護学校の卒業生に缶バッジを贈呈した。

平成23年2月作成 3色・1個100円 販売数～1,750個

[写真 NO. 7:缶バッジ]

[新聞記事 NO. 3:23/2/21 朝日～地域医療考える輪 小林、缶バッジでアピール]

[新聞記事 NO. 4:23/2/22 宮日～地域医療改善へ活動の輪広がれ]

[新聞記事 NO. 5:23/3/2 日本海新聞～地域医療啓発の缶バッジ]

(5) 会報「てとてとて」の発行

活動報告や住民への啓発を掲載した会報を発行し、地域医療講演会などで配布した。会報発行にあたっては、広報チームを編成し、会報の名称やデザインなどを検討するとともに、記事内容等を工夫した。

平成22年8月19日創刊 第4号まで発行

4 その他、地域医療に関する事業

(1) 会員ワークショップの開催

日本ファシリテーター協会フェローの加留部貴行氏(九州大学大学院特任准教授)を招き、会員によるワークショップを開催した。ワールドカフェ、タイムマシン法により、これまでの活動を振り返ると同時に、今後の活動を議論した。

平成23年3月20日(日) 慈敬園 参加者数～22人 [添付資料③]

(2) 医学部生との交流

新聞紙面で宮崎大学医学部生が野尻町で調査研究事業を行っているのを知り、その発表が行われる大学祭「すずかけ祭」に伺った。「患者さんの気持ち 看護師さんの気持ち お医者さんの気持ち」と題し、医療にまつわる率直な気持ちを集め、相互理解を深めようとする学生さんの気持ちに触れた。その気持ちを広く知ってもらいたいと考え、交流を重ね、講演会にも参加いただいた。今後も交流の幅を広げ継続したつながりを持ち続けていきたい。

5 組織運営

(1) 定例会の開催

経過報告や会の活動協議など、月1回程度開催した。

第8回まで実施 [写真 NO. 8 : 定例会の様子]

(2) 役員会の開催

事業や定例会の打合せなど、必要に応じて開催した。

8回開催

(3) 役員数の拡大

運営会員 62人 一般会員 1,077人(平成22年3月末現在)

[写真 NO. 1 : 視察研修・集合写真]



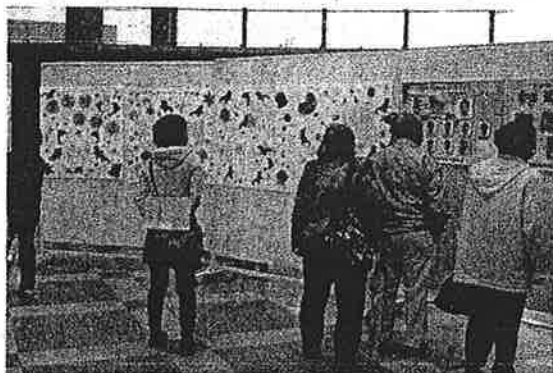
[写真 NO. 2 : 学習会・坪内院長の講演]



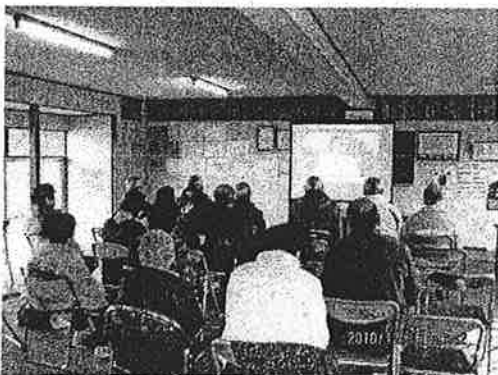
[写真 NO. 3 : 共催講演会でのホール活動]



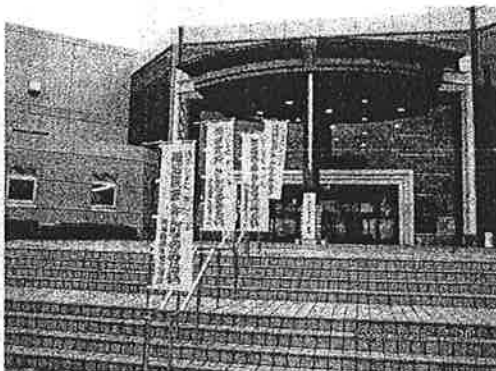
[写真 NO. 4 : 主催講演会での展示物]



[写真 NO. 5 : 座談会の様子]



[写真 NO. 6 : のぼり旗]



[写真 NO. 7 : 缶バッジ]



[写真 NO. 8 : 定例会の様子]



平成22年度 収支決算書

(単位:円) 地域医療を考える会

[収入]

区分	予算	補正	現計予算	収入済額	備考
県補助金	750,000		750,000	750,000	オピニオンリーダー育成・強化事業
市補助金	250,000		250,000	250,000	地域医療市民団体活動支援補助金
利息	1,000		1,000	59	預金利息
その他	0	92,000	92,000	197,192	缶バッジ売上
合計	1,001,000	92,000	1,093,000	1,197,251	寄付

[支出]

区分	予算	補正	現計予算	支出済額	備考
報償費	500,000	▲ 345,000	155,000	154,100	講師謝金 研修先への謝礼品代
旅費	100,000	165,000	265,000	264,840	研修等旅費
需用費	300,000	125,000	425,000	424,779	ポスター・資料・掲示物等 講演会開催需用費 会議資料・封筒等 事務局運営需用費 会報ととてと・缶バッジ等 啓発事業等需用費
食糧費	21,000	▲ 19,000	2,000	1,106	会議飲料、講師飲料等
役務費	30,000	23,000	53,000	52,450	切手等事務局運営役務費
使用料・賃借料	50,000	▲ 20,000	30,000	17,300	高速道路料金 会場使用料
委託料	0	143,000	143,000	142,800	駐車場警備委託料 DVD制作委託料
会議費	0	20,000	20,000	19,740	講演会開催会議費
合計	1,001,000	92,000	1,093,000	1,077,115	

(収入合計)

1,197,251

(支出合計)

1,077,115

=

120,136 円

(次年度へ繰越)